

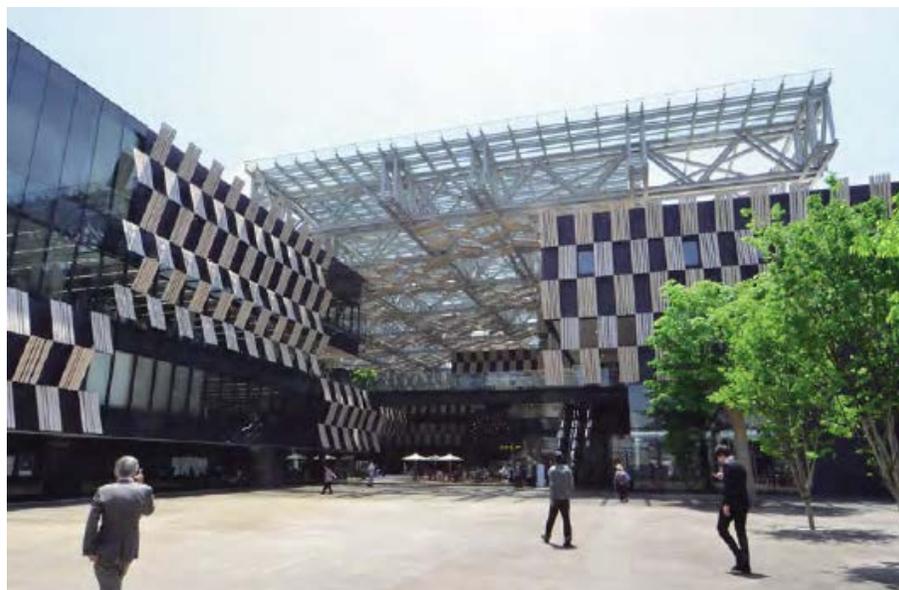
事例：新潟県長岡市

- **防災性向上と中心市街地活性化の実現**を目的に、新市庁舎整備に伴い実現したエネルギー地産地消の取組。

○ 事業概要

- ・ 長岡市市庁舎の防災性向上及び中心市街地活性化の実現等を目的とし、新市庁舎（アオーレ長岡）を整備。
- ・ **地場産ガスを活用したコージェネ等を導入し、電気・熱をエネルギーとしてアオーレ長岡の各施設に供給。**
- ・ 設計や施設運営面等での創意工夫の結果、市庁舎の防災性向上やCO2排出量削減が図られた。
なお、施設は、市民交流・協働の拠点として多くの市民に利用され、まちなかに人の流れや賑わいを生み出している。

○ 事業イメージ図（アオーレ長岡）



○ 事業スケジュール

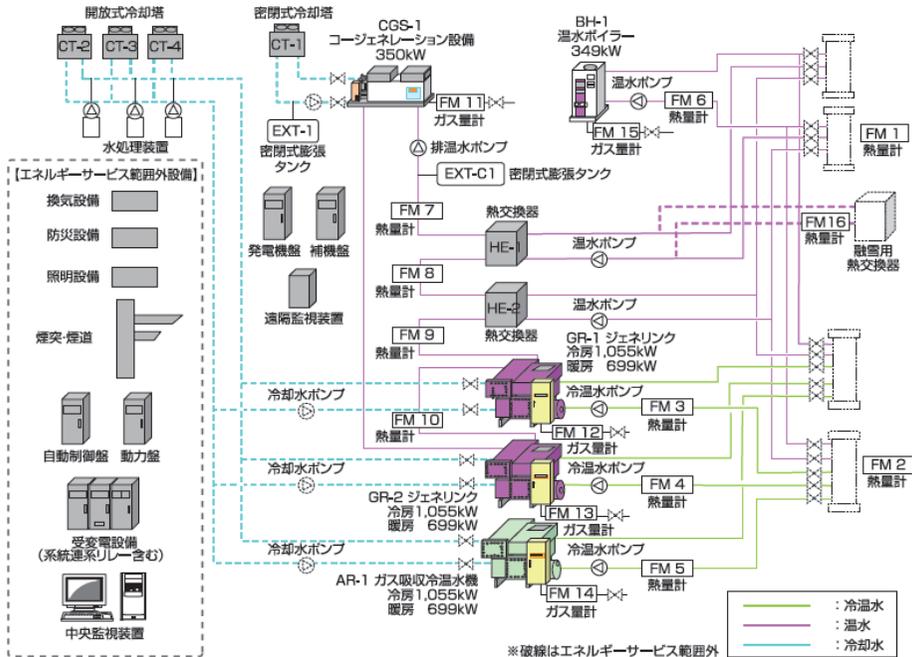
年度	スケジュール
2007	コージェネ導入に関するFS調査 (NEDO「地域新エネルギー・省エネルギービジョン等策定事業」)
2008	・基本設計・実施設計 ・事業実施についてエネルギーサービス事業者と合意形成
2009	・国交省「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」に採択 ・エネルギーサービス事業者と基本合意書を締結 ・設備等工事に着工
2011	設備工事竣工・エネルギーサービス事業運用開始

※関係者へのヒアリングや公表資料等を参考に関東経済産業局が作成

事例：新潟県長岡市

○ 基礎情報

事業主体	北陸ガス・東京ガスエンジニアリングソリューションズコンソーシアム ※ 2社によるエネルギーサービス事業 ■ 北陸ガス株式会社（代表幹事会社） ・ 所在地：新潟市中央区東大通1-2-23 ・ 連絡先：025-245-2217
設備概要	ガスエンジンCGS（350kW1基）、排熱投入型吸収式冷温水機（300RT2基） ガス直焚吸収式冷温水機（300RT1基）、ガス温水ヒーター（349kW1基）
事業内容	建設から運用、保守までの包括エネルギーサービス。契約期間は15年。
延床面積	約35,485m ²



エネルギーフロー図



ガスエンジンCGS

事例：経緯と課題

経緯

- 新潟県中越地震により**市庁舎の耐震性不足が判明**したこと、長岡市では**中心市街地活性化が従来より課題**だったことを踏まえ、市庁舎移転に関する検討を開始。
- 地場産ガスが産出される地域特性を活かすため、**ガスコージェネ施設の市庁舎への導入**による事業化を想定。「天然ガス活用基本プラン」を策定して地場産ガスの積極的活用の方向性を示していたほか、市の上位計画である「長岡市総合計画」にも「CGSの積極的な導入」が明記される等、**各種計画類の整備により、全庁的な取組推進体制を構築**。
- NEDO補助事業を活用したFS調査を実施し、調査結果を踏まえて市庁舎の基本設計等を作成。地元ガス会社との事業実施の基本合意を経て、CGS設備導入実施。

課題

- 実務を担う**市職員がエネルギー関係の専門知識をどのように習得するか**。
- 事業化検討から実装化まで長期間かかることに伴い、**人事異動等により市職員の経験・専門性が失われないか**。

事例：事業化のポイント

ポイント

- FS調査実施に当たり、**専門のコンサルタント企業に業務委託を行い、民間の専門性を活用**。FS調査が実務を行う市職員の専門知識習得の場としても機能。
- 庁舎整備のための臨時的組織を設置。**FS調査から設備導入まで、担当職員を継続的に配置**する人事措置を行い、担当職員の専門性を維持。
- **市役所関係部署から職員を集めたプロジェクトチーム（PT）を組成**し、庁内に組織横断的な検討体制を確保。

■ 事業化までの経過と長岡市役所の組織変遷

年度	2007	2008	2009
事業経過	FS調査(NEDO補助)	新市庁舎基本設計 事業者との基本合意	設備工事着工(国交省補助)
担当部署	厚生会館地区整備推進室	シティホール整備室	
検討体制	担当部署は、基本設計から建設までを所管。 組織体制が変わっても職員を継続配置 。 土木や建築など市役所関係部署から職員を集めたプロジェクトチーム(PT)を組成し、 組織横断的に検討 。		